

【強制休暇チャレンジのストーリー】

・理念

ひとりブラック企業を撲滅せよ！

サービス残業・休日出勤・パワハラなど、こんな言葉を耳にしない日はありません。

起業家のあなたは「サラリーマンって大変だなあ」と感じることも多々あるでしょう。

しかし、ある時、気づくのです。

「あれ？起業家は、誰に強制されるわけでもなく、同じくらい過酷な働き方をしているんじゃないかな？」と。

「最後にとった休暇はいつだったっけ・・・」と休めない日が続く

「休みなのに雑務に追われて休んだ気がしない」細々した作業も積み重なると時間がかかる

「南の島でのんびり1週間くらい過ごしたい」と働いているときに休みのことを考え、「のんびり休んでいいのだろうか？」と休みの時に仕事のことを考える。

日本人は勤勉で、休暇を取る＝サボっていると思われるのでは・・・ずっと働いてないと不安・・・という強迫観念でなかなか思う通りに休みが取れない人が多いのではないのでしょうか？

私を含め、「せっかく起業したのに働きバチになってしまっている！」というあなたのために立ち上げます。

それが

個人起業家のための

「月1強制休暇チャレンジ」

です。

このチャレンジはカンタンです。

- ・月に1回休む日を決める
- ・休みの日の予定を計画する
- ・休みの日に楽しんだ様子を当日または後日に報告する。

以上です。

みんなで一緒に「休む習慣」を作っていきますか？

「奴隷のように働き、王様のように遊ぶ」

働くときは働いて、休むときはしっかり休む、メリハリのある生活習慣とライフスタイルを身につけていきましょう。

マジメな経営者ほど、「休むこと」に罪悪感を感じてしまいがちです。このコミュニティで、働くこと以外の楽しいことを共有し、「しっかり休み・遊ぶ経営者ほど上手くいく」そんな事例を共有することで、自然に罪悪感が薄れていきます。「しっかり遊んで、しっかり働く」経営者仲間を増やすコミュニティです。

・なぜこれ

経営者って、色んなことに基準やルールがありません。

仕事と日々の雑務に追われ、ついつい休みを取らずに気づくと1ヵ月終わる……。1年が終わる……。(笑)

でも実は、身体も頭も疲弊しきっている。コンディション最悪の状態でがんばってもいい

結果なんて出るわけありませんよね。

お客様に誠心誠意尽くすように、自分自身に対しても、誠心誠意いたわる。だからしっかり休む。

最高のコンディションを作るための休暇の過ごし方や取り方、こんな休暇を過ごしたい、こんな休暇を過ごした、などを共有することで、「あ、私も休んでいいんだ」「しっかり遊んだ方がビジネスは上手くいく」ということを腑に落とせるようになります。

・私

独立して 10 年。連休が取れるのは、盆暮れ正月。

旅行に行きたくとも、お店を空けることが不安でなかなか踏み出せない。だけど、お店を稼働させたところで思う通りの売上がなければ結局身体がつかれるだけ。そんなループでこの数年過ごしています。

そのループを生み出したのは、他の誰のせいでもなく、独立したてのころの私。当時はなんの計画もなく、指示も出さず、好き勝手にスタッフにお店を任せて休んでいて気づいたころにはスタッフの心も冷め、お客様も減らしてしまっていました。

その失敗や、スタッフに任せる罪悪感からどんどん自分の休みを取れなくなってしまい、「好きな時に休むから大丈夫」が「休まなくても大丈夫」に。

だけど、もう 40 代後半の私。身体に疲れが出るようになりました。そして当然、仕事の効率も落ちる。

「なんで休めないの？」って考えたときに、その状況を作っていたのは自分なんだってことに気づいたわけです。

そして同時に、この世代は動いてないと死ぬのか?! っていうくらい働き者が多い(笑)

ほんとは休みたいんです。大好きな宮古島に 1 週間ほど滞在して、ゴルフとダイビング三昧で時間も忘れて、仕事も忘れて過ごしたいんです。

ただし、いきなり1週間休むなんて、今の私にはハードルが高すぎました。

ある人からのアドバイスで「たった1日だけでいいから、強制休暇を取って、仕事のことは一切考えない・やらないで、自分の遊びに没頭する日を作ってみては？」と言われ、ドキドキしながら思い切って休み、昼から海鮮ランチを食べに行き、ビールまで飲んじやいました。正直、仕事のことがチラチラ頭をよぎりましたが、実際の業務は行わずに1日過ごすことができました。

その結果、次の日びっくり。「今日も頑張ろう！」といつも以上のやる気が満ち溢れてきました。さらに入社してびっくり。私が出勤していたとき以上に、新規予約が入っていました。スタッフが頑張ってくれていたんですね。

今後も定期的に月1回の強制休暇を取り、次は2日、その次は3日と徐々に休暇日数を伸ばしていく予定です。

「宮古島旅行は2021年に実現したい！」そんなつもりで頑張っています。

私と同じように、「なかなか休みが取れない」という思いをしている人たちと、強制休暇チャレンジを楽しみたいと思っています。

・なぜコレ

今回、「強制休暇チャレンジ」を開催するにあたって、「オンラインコミュニティ」という形式を採用することにしました。なぜなら、

- ・すぐに仕事を選んでしまうから（休みではなく仕事を選ぶ？）
- ・休むことに罪悪感があるから
- ・みんなで休めば怖くない
- ・休暇の過ごし方の共有

いつまでにどのくらい休んで、どこに行って、なにをして、楽しかった、面白かった。そんなことを共有しながら、休みを取ることを自然で当たり前のことにしませんか？リフレッシュで効率のいい仕事をするために。

なぜ今

- ・GOTOトラベル・GOTO イートで安く泊まれる食べれる
- ・正直、休みは、いますぐ取らなくても死なない。だからこそ休暇を先送りしがち。休暇を取るのはいつか？「体を壊したとき」果たしてそれは、あなたにとって、お客様にとって、理想の休み方でしょうか？違うよね。休暇は必要業務のひとつ。
- ・参加して、「今月休めなかった」ってことはあるよね、でもそれでもいい。休むことの前に、休もうとチャレンジすることが大事です。